



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

Technical Service Data Sheet

ユカクリート タイルローラー用

厚膜2液型低粘度ハイビルドエポキシ樹脂系塗床材

非鉛・クロム



ユカクリート タイルローラー用は、厚膜タイプでありながらローラー塗装を可能にした2液ハイビルド型エポキシ塗床材です。エポキシ樹脂特有の強靱さと高度な塗膜性能を持った、色彩豊かでシームレスな床面が手軽に得られます。



特 長

- ホルムアルデヒドの放散量が少なく、日本塗料工業会の認定を受けています。
日塗工登録番号 D01228
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ (規制対象外)
- 低粘度なので、専門業者でなくても簡単にローラー塗装ができます(但し、可使時間には注意して下さい)。
- 旧塗膜(アクリル、エポキシ、アクリルウレタン樹脂系)との付着性が良いのでプライマーなしで直接塗装できます。但し、それぞれに入念な下地処理が必要です。
- ハイビルドタイプで、一度に約0.4~0.5mm厚の強靱で高性能の塗膜が得られます。

用 途

- 化学工場、機械工場、自動車工場、倉庫。
- 事務所、学校廊下、病院廊下、
厨房(熱水が流れる場所は不可)。
- 塗り替え時に、リフティングやしわが発生するおそれがある床。

SINCE 1932.

DAIDO CORPORATION®

Technical Service Data Sheet

ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES, DAIDO CORPORATION HAS STEADILY GROWN BY PROVIDING SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

ユカクリート

タイルローラー用

厚膜2液型低粘度ハイビルドエポキシ樹脂系塗床材

標準塗装仕様

■流しのべ工法 平滑仕上げ（標準膜厚 約0.4～0.6mm）

●新設コンクリート及びモルタル面の場合

工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (23℃)	
1	下地	下地モルタル及びコンクリートは金ゴテ仕上げで、十分強度のあるとします。通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。			
2	下地処理	1. 含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日（16時間後）開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また、含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 2. 必ず全面をサンドペーパーがけ（P24～P40）により目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 3. 油脂、グリース、タールなどは、シンナーか洗剤で除去します。 4. 必要に応じて、クラック、穴などを補修します。			
3	下塗 ^{※1}	ユカクリートプライマー-S	主剤と硬化剤を2:1（質量比）の割合で混合し、ダイドーフイラー-Sを10%（質量）加えてよく混合します。ユカクリートシンナー-EPで0～20%（質量）希釈しよくかき混ぜながら、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.10～0.15	3時間以上 7日以内
		ダイドーフイラー-S		0.010～0.015	
4	上塗	ユカクリートタイルローラー用	主剤と硬化剤を5:1（質量比）の割合で混合し、標準塗付量を床面に流し、短毛ローラー ^{※2} を使って均一に塗り広げます。	0.50～0.80	
5	養生 ^{※3}	養生期間中は出入口を封鎖し、歩行しないように注意します。軽歩行可能時間：16時間以上（23℃）。			

※1 下地の状態によりピンホールが多く残った場合は、再度下塗を行うか、下塗硬化後にエポパテ等でパテ処理を行った後に上塗を塗装して下さい。上塗硬化後にピンホールが多く出た場合は、エポパテ等でパテ処理の上、再度上塗を塗装して下さい。

※2 若竹（ピーアイエー社製 毛丈5mm）、マイクロエース（大塚刷毛製 毛丈6mm）が推奨ローラーです。

※3 タイルローラー用には溶剤が含まれています。硬化の過程で換気が不十分な場合、溶剤が揮発しにくく硬化が遅れますのでご注意ください。

●塗り替えの場合（旧塗膜がアクリル樹脂系、エポキシ樹脂系、アクリルウレタン樹脂系の場合）

工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (23℃)
1	下地処理	1. 油污れなどを塗料用シンナーを使って拭き取ります。 2. 旧塗膜は素地への密着が良好であることを確認します。付着力が十分でない旧塗膜は必ず除去します。 3. 旧塗膜がエポキシやアクリルウレタンの場合は、入念に旧塗膜をサンディングします。 4. 必要に応じてクラック、穴などを補修します。		
2	上塗	ユカクリートタイルローラー用	主剤と硬化剤を5:1（質量比）の割合で混合し、標準塗付量を床面に流し、短毛ローラー ^{※2} を使って均一に塗り広げます。	0.50～0.80
3	養生 ^{※3}	養生期間中は出入口を封鎖し、歩行しないように注意します。軽歩行可能時間：16時間以上（23℃）。		

※旧塗膜が濃色で、淡彩色に塗り替える場合は下塗りにユカクリート ミズユカプライマーを塗装して下さい。

塗付量は0.13～0.15kg/m²で、塗装間隔は16時間以上7日以内（23℃）です。

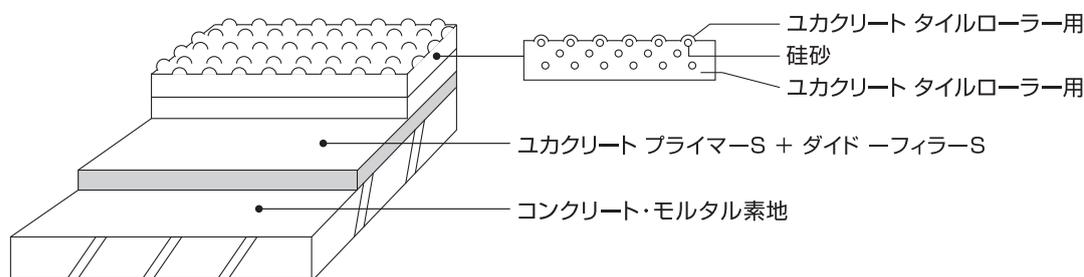
施工上の注意

- デジタル式水分計は、（株）ケット科学研究所製造品を指しています。説明書に従って測定して下さい。
- タイルローラー用は希釈しないで下さい。希釈すると、塗膜内部に溶剤が残り、軟化した状態が長く続くため塗膜の硬度ができません。
- 薄膜タイプの溶剤型塗料と比べて可使用時間が非常に短いので、混合後は予めスパン割りした下地に所要量を流し、塗り広げて下さい。そのまま容器内に放置しますと、反応が進み急激な発熱が起こり、使用できなくなりますので注意して下さい。
- タイルローラー用は、施工温度により夏型・春秋型・冬型の3タイプがありますので使用条件により使い分けて下さい。
- 主剤と硬化剤の混合は必ず電動ミキサーで行って下さい。又、過度の攪拌は可使用時間の減少につながりますのでご注意ください。
- 少量を使用する場合は、主剤をよく攪拌してから、主剤、硬化剤を正確に計って使用して下さい。
- タイルローラー用の塗装は専用の短毛ローラー^{※2}をご使用下さい。その際、一度短毛ローラー^{※2}を材料の中に浸け、ローラー内の空気を追い出してから塗装して下さい。
- 同一床面では休まず一気に仕上げて下さい。休むと色の差や段差ができることがあります。塗り継ぎは10分以内として下さい。
- 施工中は、保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した場合は石けんでよく洗って下さい。
- 冬期はタイルローラー用の粘度が高くなりますので、材料を保温して下さい。
- 気温5℃以下や、相対湿度80%以上での施工は避けて下さい。相対湿度80%以上の高湿度下で施工しますと、結露等の影響で白化、艶上げが生じることがありますのでご注意ください。
- 施工中、養生期間中は換気を十分に行い、火気厳禁として下さい。
- 下地が緻密で吸い込みが少ないコンクリートの場合はユカクリート強化コンクリート用プライマーをご使用下さい。



■流しのべ工法 防滑仕上げの場合

- 下塗りが乾燥した後、ユカクリート タイルローラー用0.4~0.5kg/m²を短毛ローラー^{*2}で塗り広げ、直後に4~5号硅砂を1.2kg/m²散布して下さい。
- ユカクリート タイルローラー用が硬化後、余分の硅砂を除去し、もう一度、0.4~0.5kg/m²を短毛ローラー^{*2}で塗り広げて仕上げして下さい。硅砂が塗料に沈んでしまう箇所が生じた場合は硅砂を追加撒きし、直ちにローラーで馴染ませて下さい。



可使用時間と硬化時間

単位:時間

品名			10℃	20℃	30℃	
ユカクリート プライマー-S	可使用時間		8	4	2	
	硬化時間		6	3	2	
ユカクリート ミズユカプライマー	可使用時間		4	2	1	
	硬化時間		8	3	2	
ユカクリート タイルローラー用	夏型	可使用時間			27(分)	
		硬化時間			16	
	春秋型	可使用時間			25(分)	14(分)
		硬化時間			16	12
	冬型	可使用時間		35(分)	15(分)	
		硬化時間		30	14	

注意: 施工時の気温により硬化剤(夏型・春秋型・冬型)を使い分けて下さい。地域により異なりますので注意して下さい。

夏型 7月~9月期

春秋型 4月~6月期、10月~11月期

冬型 12月~3月期を目安にご使用下さい。

なお、気候や施工環境の変化により、若干前後する場合がございます。

容量と塗装面積

品名	材質	配合比(質量)		容量		塗装面積(m ² /1缶)	ホルムアルデヒド放散等級 日塗工登録番号	
		主剤	硬化剤	主剤	硬化剤			
ユカクリート プライマー-S	溶剤型 エポキシ	主剤	2	15kgセット	主剤	10.0kg	100~150/回	F☆☆☆☆ D01159
		硬化剤	1		硬化剤	5.0kg		
ダイド ー フィラー-S	専用 フィラー	プライマー-Sに 対して10%		1.5kg			—	
ユカクリート ミズユカプライマー	水性 エポキシ	主剤	1	16kgセット	主剤	8.0kg	100~120/回	F☆☆☆☆ D01147
		硬化剤	1		硬化剤	8.0kg		
ユカクリート タイルローラー用	ハイビルド型 エポキシ	主剤	5	15kgセット	主剤	12.5kg	18~30/回	F☆☆☆☆ D01228
		硬化剤	1		硬化剤	2.5kg		

Technical Service Data Sheet

ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES, DAIDO CORPORATION HAS STEADILY GROWN BY PROVIDING SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

ユカクリート

タイルローラー用

厚膜2液型低粘度ハイビルドエポキシ樹脂系塗床材



標準色

No.10 グリーン	No.11 パームグリーン	No.13 パウダーブルー	No.14 ベネチャンレッド	No.17 グレー
No.18 ターフグリーン	No.20 モスグリーン	No.21 エメラルドグリーン	No.22 ライトグリーン	No.23 ペールグレー
No.24 ライトグレー	No.26 ライトブラウン	No.27 クリーム	No.28 ライトベージュ	No.29 グラスグリーン
No.30 オリーブグリーン				

※ユカクリート標準色見本帳をご参照下さい。※エポキシ樹脂は黄変しますので淡彩色をお選びの場合はご注意ください。屋外などでの使用には耐候性の良いユカクリートAUを上塗りすることをお勧めします。

性能

■一般物性

項目	結果	試験方法
耐摩耗性	10.1mg	テーバー式 CS-17 100回転 4.9N
	170mg (国土交通省 エポキシ樹脂床材 品質規格200mg以下)	JIS K 5600-5-9 テーバー式 CS-17 1000回転 9.8N
耐衝撃性	衝撃による変形で割れ、はがれを生じない	1/2インチ 300g 30cm
耐水性	水に規定時間浸したとき異常がない	6時間浸漬
	異常なし	水道水3か月浸漬
耐アルカリ性	アルカリに規定時間浸したとき異常がない	6時間浸漬
デュロメータ硬さ	80	JIS K 7215 HDD
曲げ強さ (MPa)	18.5	JIS K 7171
圧縮強さ (MPa)	26.0	JIS K 7181
引張強さ (MPa)	17.7	JIS K 7161-1
引張接着強さ (MPa)	2.7 基材破壊 (国土交通省 エポキシ樹脂床材 品質規格1.0以上)	建研式引張接着力試験器
シャルピー衝撃強さ (KJ/m ²)	1.8	JIS K 7111

※塗膜物性の試験結果は実測値であり、保証値ではありません。

■耐薬品性 (スポット試験 48時間)

項目	結果	項目	結果	項目	結果	評価方法
1 10% 硫酸	△	6 10%アンモニア水	◎	11 飽和砂糖水	◎	◎ 使用に最適 ○ 一般的には使用可能 △ 限定的な用途で使用可能 × 使用に適さない
2 10% 酢酸	×	7 飽和水酸化カルシウム	◎	12 飽和食塩水	◎	
3 10% 塩酸	△	8 キシレン	△	13 サラダ油	◎	
4 エタノール	△	9 ガソリン	○	14 しょう油	○	
5 10%かせいソーダ	◎	10 灯油	○	15 ソース	○	



SINCE 1932.

大同塗料株式会社

ISO 9001 (滋賀工場)

本社	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6288 FAX.06 (6308) 3618
東京支店	〒135-0031	東京都江東区佐賀1丁目18番8号	TEL.03 (3642) 8431 FAX.03 (3643) 5560
名古屋支店	〒452-0962	愛知県清須市春日流77番地1	TEL.052 (409) 8711 FAX.052 (409) 8716
大阪支店	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6281 FAX.06 (6308) 3512
福岡支店	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭5丁目8番18号	TEL.092 (641) 2025 FAX.092 (641) 4022
札幌営業所	〒061-3244	石狩市新港南3丁目704番地8	TEL.0133 (76) 6177 FAX.0133 (76) 6178
千葉営業所	〒270-1403	千葉県白井市河原子木戸場364番地13	TEL.047 (492) 1901 FAX.047 (492) 1903
神奈川営業所	〒252-0244	神奈川県相模原市中央区田名2507番地10	TEL.042 (764) 4835 FAX.042 (764) 4836
滋賀営業所	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077 (583) 2234 FAX.077 (583) 3964
姫路営業所	〒670-0074	兵庫県姫路市御立西6丁目1番35号	TEL.079 (299) 5959 FAX.079 (299) 5960
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター4丁目5番15号	TEL.082 (277) 6464 FAX.082 (277) 6461

本社工場	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6281 FAX.06 (6308) 3512
滋賀工場	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077 (583) 2234 FAX.077 (583) 3964



製品の規格及び仕様は改良等のため予告なく変更する場合があります。

50-1023

'24.5.35版 3,000N